

## 2. 環境指標の森

### (3) 宝満川上中流域

#### 1) 竜岩自然の家

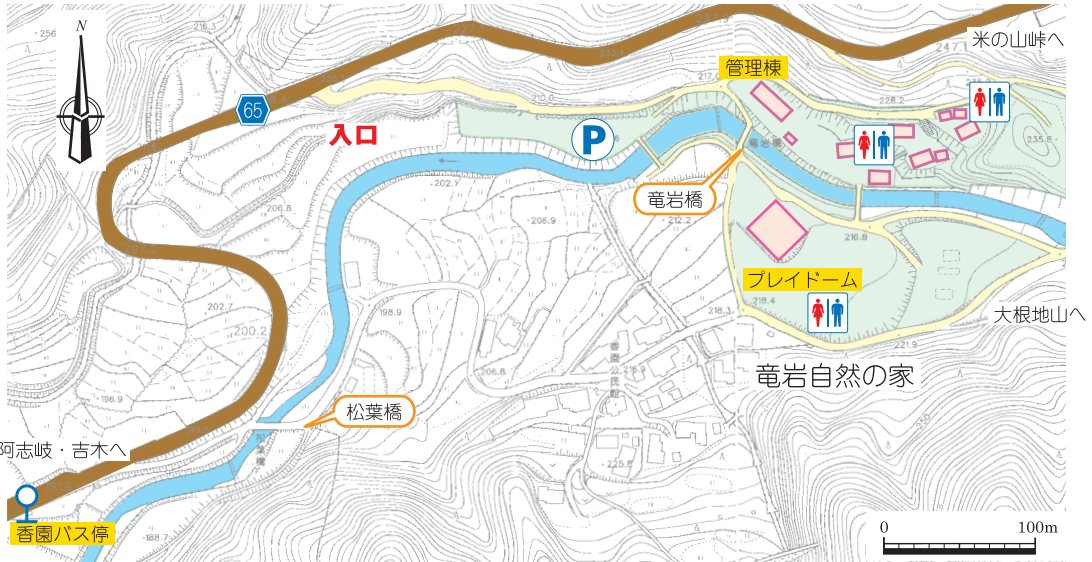
- 宝満川の上流にあり、自然観察、スポーツ、キャンプ、登山などが楽しめます。また野鳥観察会や工作教室など様々な催しが行われています。

##### 竜岩自然の家で見られる植物

- 【木本類】 ヒマラヤスギ、クヌギ、ウバメガシ、コナラ、ホオノキ、オガタマノキ、カツラ、ニシキギ、ケンポナシ、シマサルベリ
- 【草本類】 カナムグラ、イシミカワ、イノコツチ、オオブタクサ、オニドコロ ...など



トノサマガエル



##### 竜岩自然の家一帯で見られる動物

- 【哺乳類】 イノシシ、コウベモグラ、テン、ノウサギ、ヒメネズミ、アカネズミ、
- 【爬虫類】 アオダイショウ、カナヘビ、シマヘビ、マムシ、ヤマカガシ
- 【両生類】 シュレーゲルアオガエル、タゴガエル、トノサマガエル、ヤマアカガエル、ヌマガエル
- 【魚類】 タカハヤ、ヨシノボリ、カワムツ
- 【甲殻類】 ヒメカイエビ (田んぼ)
- 【貝類】 カワニナ
- 【昆虫類】 ミヤマカワトンボ、ヒメクロサナエ、トノサマバッタ、ツチイナゴ、ヘビトンボ、ヨツメトビケラ、カラスアゲハ、ベニシジミ
- 【鳥類】
  - 〈留鳥〉 ダイサギ、コサギ、アオサギ、キジバト、アオバト、アオゲラ、キセキレイ、セグロセキレイ、カワガラス、ウグイス、イカル
  - 〈夏鳥〉 ツバメ、キビタキ
  - 〈冬鳥〉 ハイタカ、ノスリ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、キクイタダキ、カシラダカ、アオジ、クロジ、アトリ
  - 〈外来鳥〉 コジュケイ、ガビチョウ、ソウシチョウ ...など



カワムツ



宝満川のいきもの

## ■コースガイド

- 場所** ◆筑紫野市香園にあります。
- アクセス** ◆西鉄バス香園バス停から徒歩15分。
- 施設** ◆休憩棟やプレイドーム、50台程度の駐車場、トイレなどがあります。
- 観察情報** ◆5月から2月までの第4日曜日に野鳥観察会が実施されています。



竜岩自然の家

(竜岩自然の家 TEL 092-921-3455)

- ひとこと** ◆キャンプや天体観測、川遊びができ、プレイドームでは屋内スポーツも楽しめます。またここを基点として大根地山や三郡山、宝満山の散策ができます。子供たちが宝満川での川遊びを楽しんでいます。

## ■自然観察

### 植 物

もと竜岩小学校の校庭に植えてあったオオシマザクラがあり、幹回りも大きく枝を四方に伸ばしています。竜岩小の歴史を伝える語りべとして来園者に問いかけているようです。この木には鮮やかな色の葉と白色の香り良い花が同時につきます。桃の節句の桜餅の葉は、これを塩漬けにして使っています。



オオシマザクラ

### 動 物

駐車場の下の川ではカワガラス（鳥類）がエサを捕っています。カジカガエル（両生類）が鳴き出す5月、親子で川遊びをするには絶好の季節です。川中の石をひっくり返すと、ヘビトンボ、カワゲラ、カゲロウ、トビケラと水生昆虫がいっぱいです。トビケラの巢は種類によって材質も形もさまざまです。集めて観察してみてください。

### 歴 史

- ◆竜岩の由来（古老の話より）

昔、柚須原の宝満川の崖に大きな岩がありました。あるときその岩から龍が立ち昇っていくのを村人が見ました。それから竜岩（龍岩）と呼ぶようになりました。



竜岩自然の家 園内

### (3) 宝満川上中流域

#### 2) 宝満川中流域



宝満川中流域の上流から中流では様々な魚類、鳥類や植物を観察できます。



カミーリヤ付近の川沿いでは両岸に遊歩道が設置されています。  
 ※宝満川増水時は警報局のサイレンが鳴り警報板が点滅します。増水時は速やかに川辺から離れて下さい。

県道53号線高架下通行

六本松橋から宝満橋まで約60分

宝満橋からカミーリヤまで約40分

筑紫野市総合保健福祉センター  
カミーリヤ

(下流側)

日市入

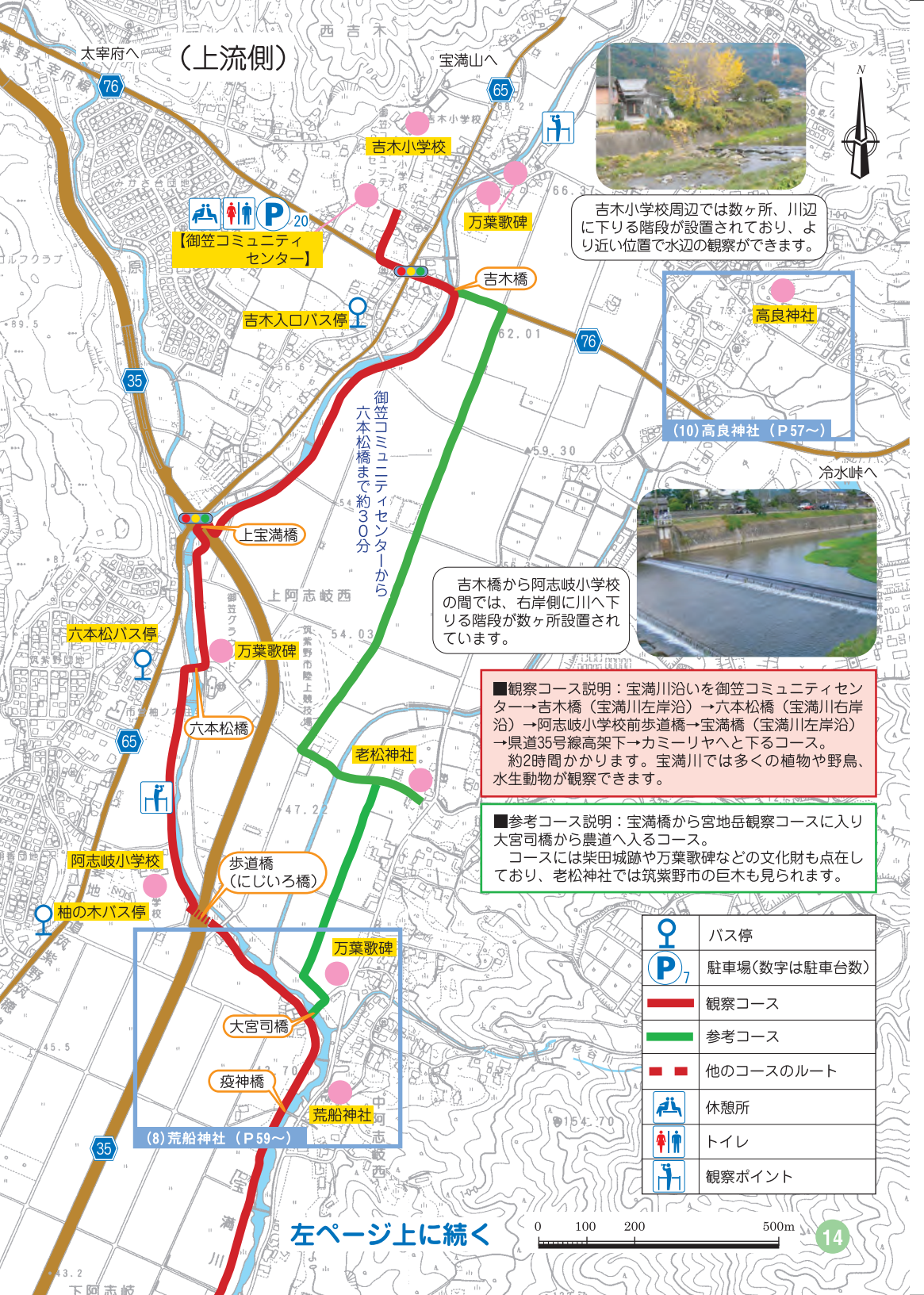
13

筑紫野市農業センター トレーニングセンター



小郡へ

下見



(上流側)



吉木小学校周辺では数ヶ所、川辺に下りる階段が設置されており、より近い位置で水辺の観察ができます。



(10)高良神社 (P57~)

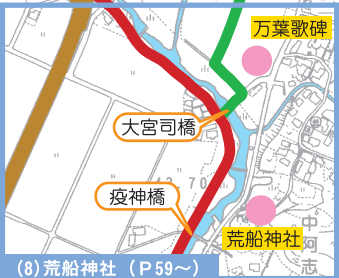


吉木橋から阿志岐小学校の間では、右岸側に川へ下りる階段が数ヶ所設置されています。

■観察コース説明：宝満川沿いを御笠コミュニティセンター→吉木橋（宝満川左岸沿）→六本松橋（宝満川右岸沿）→阿志岐小学校前歩道橋→宝満橋（宝満川左岸沿）→県道35号線高架下→カミリヤへと下るコース。  
約2時間かかります。宝満川では多くの植物や野鳥、水生動物が観察できます。

■参考コース説明：宝満橋から宮地岳観察コースに入り大宮司橋から農道へ入るコース。  
コースには柴田城跡や万葉歌碑などの文化財も点在しており、老松神社では筑紫野市の巨木も見られます。

御笠コミュニティセンターから六本松橋まで約30分



(8)荒船神社 (P59~)

	バス停
	駐車場(数字は駐車台数)
	観察コース
	参考コース
	他のコースのルート
	休憩所
	トイレ
	観察ポイント

左ページ上に続く



●宝満山に源流がある一級河川の宝満川は筑紫野市の中央を流れています。

### ■コースガイド

- アクセス** ◆西鉄バス吉木入口バス停下車
- 施設** ◆御笠コミュニティセンターに休憩所、駐車場(20台程度)、トイレがあります。(休館日：毎月第3水曜午前中 TEL 092-922-2601)
- ◆筑紫野市総合福祉センター(カミーリヤ)に休憩所、駐車場、トイレがあります。(休館日：毎月第3月曜 TEL 092-920-8000)
- 観察情報** ◆阿志岐小学校・吉木小学校で自然観察会が実施されています。
- ひとこと** ◆コース終点のカミーリヤでは温泉、運動施設などを利用できます。(カミーリヤ：入場無料、施設利用有料)

### ■自然観察

#### 地形・地質

宝満川付近の低地は、沖積地堆積物からなり北野平野と呼ばれ、大きな平野の一部となっています。河川沿岸には平地が広がっており、筑後川水系の最大の支流である宝満川は、有明海にそそいでいます。

#### 植物

水生植物の豊富な川です。上流の流れの中には、丈の高いツルヨシやクサヨシ、ガマなどが見られます。オオフサモの群落は水面に細かい葉を出しており、オランダガラシ(クレソン)も群生しています。堤防の植物も豊かで、アレチハナガサやオオイヌタデの群落が見られます。中流部には、ゴキヅルが絡みつき、またマコモの群落が観察



できます。堤防にはイヌドクサやヒナギキョウが生え、夏はソクズが白い花を、秋には又マツルギクが黄色い小花を咲かせています。このほかにも、ヘラバヒメジョオン、オオタチャナギなどが観察できます。

#### 宝満川中流域一帯で見られる植物

【木本類】 オオタチャナギ、ネムノキ、センダン

【草本類】 イシミカフ、アレチハナガサ、アメリカセンダングサ、アキノノゲシ、アキノエノコログサ

【シダ類】 イヌドクサ

...など

#### 動物

宝満川中流域の、ゆったりした流れのそばでは、サギ(鳥類)の仲間が川の中を見つめています。水の中には、オヤニラミやムギツク、ギンプナ、バラタナゴ(魚類)な

どが、底にはカマツカ（魚類）などがすんでいます。ナガレトビケラやヒラタカゲロウ（昆虫類）などのきれいな水の指標生物やバン（鳥類）もいます。周辺の用水路ではメダカ（魚類）がみつかっています。ラミーカミキリ（昆虫類）がカラムシの葉に止まっていたり、シオカラトンボやアオサナエ（昆虫類）が飛んでいたりします。上空ではノスリ（鳥類）が舞っています。この付近の田んぼをのぞいてみてください。カブトエビ（甲殻類）が見られるかもしれません。ナマズやドンコ（魚類）も観察できます。形態や生態などを調べてみてください。



カワセミ

#### 宝満川中流域一帯で見られる動物

- 【哺乳類】 カヤネズミ、コウベモグラ、タヌキ、チョウセンイタチ、テン
- 【爬虫類】 アオダイショウ、イシガメ、シマヘビ、スッポン、ヌマガメ、マムシ
- 【両生類】 アマガエル、イモリ、ツチガエル、トノサマガエル、ヌマガエル
- 【甲殻類】 ヌマエビ、ヒメカイエビ〈田んぼ〉、ホウネンエビ〈田んぼ〉
- 【魚類】 オイカワ、カマツカ、カワムツ、シマドジョウ類、ドンコ
- 【昆虫類】 ヒラタカゲロウ、アオサナエ、コオニヤンマ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ガムシ、ラミーカミキリ、ナガレトビケラ、イチモンジセセリ、モンシロチョウ、ベニシジミ、キタテハ
- 【鳥類】
  - 〈留鳥〉 カイツブリ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、バン、イカルチドリ、カワセミ、イワツバメ、キセキレイ、セグロセキレイ、エナガ、イカル
  - 〈夏鳥〉 アマサギ、チュウサギ、ツバメ
  - 〈冬鳥〉 カワウ、コガモ、ノスリ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、アトリ
  - 〈旅鳥〉 ノビタキ

…など

## 歴史

あしきのうまや

### ◆万葉歌碑と蘆城駅家

奈良時代、阿志岐のあたりには駅家がありました。大宰帥大伴旅人が都に帰るとき、大宰府の役人大伴四綱が別れに詠んだ歌です。

月夜よし河音さやけしいぎここに行くもゆかぬも遊びてゆかむ（万葉集・571）

防人佑大伴四綱

（大意）きれいな月夜、気持ちよいこの蘆城野で、都に帰る人も帰らない人も一緒に、心ゆくまで遊んでいこう

### ◆柴田川古戦場

あしきのがわ

宝満川は古くは蘆城川、戦国時代には柴田川とも呼ばれ、しばしば戦場となった場所です。